

地球の温暖化と市の取組は

森 新一 議員

問

①温室効果ガス低減のための市の施策は②植物の光合成作用により温室効果ガスを低減するため、植栽等緑を確保していく考えは③気温上昇に有効な手段とされる休耕水田の湛水化について、それぞれ伺いたい。



答

①これまで、住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助、新設の小中学校屋内運動場への太陽光発電システム設置、全小学校への太陽光発電照明灯の設置、ごみの減量化対策等に取り組んできた。本年度は、本市の特性を生かした地球温暖化対策地域推進計画の策定を予定している。②学校や公民館などの公共施設における壁面緑化等を実施するとともに、本年度は「熊谷百年の森づくり事業」を計画しているところである。③休耕水田に水を張

る「調整水田」の増加が図られるよう誘導していきたい。(環境政策課)

○その他の質問項目

「本市農業の振興政策について」ほか

市立女子高等学校校後の跡地の有効活用について

新井 清次 議員

問

①市立女子高等学校校後の跡地の利用申込の状況②跡地利用の交通手段として道路整備計画はあるか③立正大学との協議が打ち切りになった理由④跡地利用の将来計画は、それぞれ伺いたい。

答

①私立高校や学校法人数校から問い合わせがあったが具体的な協議には至っていない。②市街地の渋滞対策として、(仮称)熊谷西環状線が提案されており、跡地の利便性も高まるものと考えられる。早期事業化を目指し、関係機関と調整を図っていく。③公設民営というコンセプトで提案を受けたが、公設では市民の理解を得られないと判断し、協議を打ち切った。④私立高校の誘致を第一に取り組んでおり、公益的施設等の施設利用計画は検討していない。(政策調査課)

教育施設整備について

松岡 兵衛 議員

問

中条小学校屋内運動場の改築時期はいつ頃になるのか。校地拡張が無理なら現在の校地内で建て替えができないか、それぞれ伺いたい。



中条小学校の屋内運動場

答

同小学校の屋内運動場は、市内で一番古く老朽化が進んでいることは承知している。これまで校地拡張を前提に長期にわたり用地交渉を行ってきたが、理解が得られず先の見通しがつかないことから、これ以上改築を遅らせることはできないと考え、検討を行ってきた。こうした中、本年五月に現在の校地を有効利用した改築を希望する旨の

三千二百七十一人にもおよぶ陳情書が提出された。この地元の総意を重く受け止め、今年度のできるだけ早い時期に事業に着手したい。(教育総務課)

○その他の質問項目

「利根川新橋について」

小・中学校二学期制の現状と課題について 第二弾

山田 忠之 議員

問

①二学期制の実施により増加したのか②新しい通知票を保護者にどう説明し、理解を得るのか③アンケート調査を行うなど見直しをする考えは④現場や保護者の声に耳を傾けて理解を求める取り組みは、それぞれ伺いたい。

答

①例として、昨年度から実施した江南三校では二十二時間程度増加した。②より分かりやすくするため数値による評定も入れ、絶対評価だけでなく、集団の中の位置付けがわかる相対評価も取り入れている。③平成十九年度に全校実施したばかりであり、アンケートは予定していないが、新しい学習指導要領の完全実施後の調査について、研究していきたい。④

いろいろな声を伺っているが、二学期制を実施することで、各学校が保護者、地域と一体となって「知・徳・体のバランスのとれた学力向上」に、取り組んでいきたい。(学校教育課)

○その他の質問項目

「市税の滞納状況と今後の取組について」

本市「農業立市宣言」に向けての農業振興地域整備計画の進捗状況について その四

杉田 茂実 議員

問

食の安心安全の原点となる農業の活性化に向け、本整備計画の実態調査を実施するに当たり、①調査の目的および実施方法②調査により地域ごとの独自性を明確化できる可能性があるのか、それぞれ伺いたい。

答

①この調査の目的は、本市農業の総合的な評価と地域農業振興上の諸課題を明らかにすることであり、民間の専門知識、調査技術を活用するため、専門業者に調査業務委託を行う予定である。具体的には、JA正組合員約八千人への経営実態把握アンケート、専業・兼業の各農家三十戸およびJA、量販店等に対するヒアリングを実施す